

平成 27 年度事業報告及び決算(案)

本部事業

I 社会啓発・研修事業

「すべての県民(国民)が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現する。」(障害者基本法)ための社会啓発・研修事業

1 社会啓発事業

(1) 権利擁護事業

虐待防止法等を含め障害者の権利擁護を啓発してきた。

(2) 会報・リーフレット等による情報発信

機関紙「手をつなぐ」の購入促進に努めた。

「会報」93号(7500)部、94号(7500)部を発行して情報提供を行った。

(3) ホームページの公開

研修会やスポーツ行事等の更新に努め、情報提供を積極的に行った。

(4) あいサポート運動等を活用した、あび隊による啓発活動

あび隊の活動を通して、学校の子どもたちや保護者・教職員の方々へ「知的障害・発達障害」の理解を深めてもらうことができた。

活動部会では、平成22年から配布されている広島県統一版サポートファイルの見直しを行うため、広島県全域にアンケートを行った。その結果、災害時のための財布に入るくらいの防災カードが必要との声が上がっている。

2 研修・調査事業

(1) 研修(各種大会)・ 全国大会(名古屋大会)・中国・四国大会(香川)へ参加し、研修した。

(2) 県福祉大会(広島大会) 下記のように開催し県内各地から参加し、研修した。

ア 事業名 第41回広島県知的障害者福祉大会・第14回はつらつ大会(本人大会)

イ 日時 平成27年10月 4日(日)

ウ 場所 (一般大会)JMSアステールプラザ(大ホール)

(本人大会)JMSアステールプラザ(中ホール)、中島小学校(体育館)

エ 参加者 参加総数約688人(内本人225名)(※ボランティアも含む)

オ 内容 《一般大会》主題：『広島発信！みんなが「ええじゃん」と言える平和な社会へ』

表彰ならびに来賓挨拶

講演会(午前) 講師 又村 あおい 様

演題「分かりやすい障害者総合支援法」～どこが変わったのか～

シンポジウム(午後)

テーマ『みんなで知ろう、考えよう「地域生活支援拠点」』

《本人部会》スローガン：「語ろうみんなの夢を！築こう平和な社会を！」

午前；開会行事・来賓挨拶

「語り部の話」、「行政の人との話し合い」

午後；(ア) 夢を語ろう、しゃべり場・大会決議発表

(イ) 音楽とダンス

(3) その他講演会・セミナー

広島県手をつなぐ育成会会員研修会を下記のように開催した。

講師；広島県健康福祉局障害者支援課職員計画県立施設グループ主幹 村上 誠一様
広島県教育委員会教育部特別支援教育課補佐(兼)係長 西岡 律子様

テーマ；「第4期 広島県障害福祉計画 重点事項」

日時；平成27年9月2日(水) 13:00～15:00

場所；育成会総合福祉センター

参加者；約40名

(4) 財政部会（※詳細については別紙1参照）

① はじめに

一般社団法人設立にあたり、広島県育成会の継続的発展を目指す為にはどうしたらよいかを検討する一環として、第2次財政部会が発足された。そして継続的発展の方策として、「財政を透明化・健全化して、必要などころに必要な財源をつける」為にどうするかという課題に対する問題点の抽出・対策の立案が目標として与えられた。

※メンバーの構成；親の会の理事，施設保護者会長会の理事，監事役員及び県育成会事務局

② 実施済み成果

財政部会活動中に提起された課題について、即時取組みを開始すべき重要事項については、月例3役会にその内容を報告・承諾を得た後に改善策の実行に着手した。

(ア) 費用の節減

	H26年度	H27年度	H28年度以降
費用節減の要因	A	A+B	A+B+C
費用の節減額	31.63万円/年	45.63万円/年	63.63万円/年

A；共用部課税対象部分の再確認による減額；31.6万円/年（H26年度予算から実施）

B；福祉協会との助成金の見直しによる減額；14万円/年（H27年度予算から実施）

従前は、県育成会⇒福祉協会への助成金；20万円/年。

福祉協会⇒県育成会への助成金；6万円（県大会助成金）の相互助成。

今後も県育成会及び福祉協会の相互協調の関係を継続する為に、

県育成会⇒福祉協会；5万円/年

福祉協会⇒県育成会；5万円/年

C；税理士報酬の見直しによる減額；18万円/年。（H28年度予算から実施）

・顧問報酬額については、60⇒42万円/年(18万円/年の削減)という内容で合意。

(イ) 修繕積立金額の予算書への組み込み

育成会総合福祉センターの修繕計画について、三役会に対して“修繕積立金積立計画(案)”の提案が行われた。その結果、H26年度から“修繕積立金積立計画”が確定され、予算書の中にも各年度の積立金目標額が記載されて実行されている。

(ウ) 旅費・交通費の規程作成

a “会議及び委員会の交通費等に関する規定”；H27,3月の理事会&総会で承認
(総会，理事会及び各種委員会への参加旅費)

b “会員旅費規定”；H27,4月の3役会で承認，H28,3月理事会&総会承認
(会員が、育成会を代表して出席する比較的遠距離の出張等)

③ 提出された課題と進捗状況

(ア) 分類部門

- a 育成会全体に関わる法人関係 b 県本部に関わる本部関係
c 付添看護に関わる付添関係 d 雇用支援センターに関わる雇用支援関係

(イ) 観 点

- i) 無駄な経費の節減 ii) お金の流れの見える化 iii) 業務の改善・効率化

(ウ) 参考資料

- a H21 年度以降の収支予算書及び計算書 b その他の経理資料
c 従前の規定類 d 税理士さんの会計処理に関する見解 等

(エ) 課題取組み策立案 担当部門

- a 3 役会 b 事務局 c 新設委員会・組織部会

課題取組み策立案担当部門	財政部会提案課題件数	3役会決議課題取組み件数	解決済件数	備 考
3役会	71	70	12	雇用支援センター方向決定待ち；12件
事務局	28	※	5	※事務局が第1案策定後3役会決議
新設委員会・組織部会	3	3	0	雇用支援センター方向決定待ち；2件

II 社会参加事業

知的障害のある人の社会参加を支援する事業

1 社会参加推進事業

○知的障害のある人が自立した生活を送る力を培うため、仲間とともに様々な研修や体験をする機会と場を提供し、その支援を行った。

(1) 本人活動支援

本人同士の諸活動(本人交流会、本人相談会、代表者会)の支援を行ってきている。

- ① はつらつ友の会役員・代表者会を6回開き、本人大会(広島大会)に向けての企画・運営を行った
- ② 中国・四国大会(本人大会)(香川県)をバックアップした。
- ③ 本人による本人のための相談会・交流を1月31日(日)育成会総合福祉センターで行った。
- ④ 本人活動支援委員会では、2回委員会を開催し、各地域の実態や課題について情報交換を行い、これからの本人活動支援の在り方について話し合った。

(2) スポーツ大会の開催、協力

- ① 第15回「全国障害者スポーツ大会バスケットボール競技中国・四国ブロック予選会」{6/20(土)～6/21(日)広島県立びんご運動公園}を開催した。
15チーム161名の参加を得て、成功裡に終えることができた。
※尾道育成会の方々には、受付・駐車場・会場(靴袋渡し)・弁当・開会式進行など、大変お世話になった。
- ② 県障害者陸上大会{5月17日(日)}をはじめ、県各種スポーツ大会予選会を開催し、全国障害者スポーツ大会(和歌山県；10月23日～25日)に選手派遣を行った。
76名の選手、役員が参加した。個人競技では、陸上・水泳・卓球・フライングディスク・ボーリング・アーチェリーの各競技で37個のメダル(金14個銀11個、銅12個)を獲得した。団体競技では、グランドソフトボールで金メダルを獲得した。
- ③ 2015ボーリンピック in 福山を12月5日(土)福山パークレーンで行った。

(3) 広島県障害者スポーツ協会(仮称)設立に向けての推進、協力

- ① 4回の設立検討委員会を経て、平成28年1月14日(木)広島県庁において、広島県障害者

スポーツ協会設立総会が開催され、広島県障害者スポーツ協会が設立された。

② 目的

全ての県民が障害の有無に関わらず障害者スポーツに親しむとともに、障害者がスポーツ活動を通じて健康の保持・増進や地域社会との交流による社会参加に努め、また競技力の向上に取り組むことができるよう、障害者スポーツの振興を図り、もって活力ある共生社会の実現を目指す。

2 地域生活支援事業

○自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、知的障害のある人や保護者に相談支援等を行うとともに障害の有無に関係なく安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指す事業

(1) 広島県知的相談員研修会

広島県知的障害者相談員および各市町障害福祉担当者に向けて、虐待防止や新たな障害者相談の在り方についての研修会を下記のように2回実施した。

①講師と講話のテーマ；

・支援センターあいる後藤 雅之さん

「計画相談支援について～本人主体の相談支援とは～」

・広島県手をつなぐ育成会会長 副島 宏克 さん

「知ってほしい・知っておきたい—知的障害者と「警察」—」

②日時・会場・参加人数；

H27年10月29日(木) みよしまちづくりセンター(三次会場) 30名(行政関係者 6名)

H28年 1月21日(木) 育成会総合福祉センター(広島会場) 21名(行政関係者 5名)

(2) 就労支援事業運営委員会

今年度は主に20人定員の件について、2回会議をおこなった。

第1回 平成27年7月24日(金) 14:00～16:00

○現状と課題について

第2回 平成28年 2月9日(火) 14:00～15:20

○雇用支援センター現状とこれからの方向性について

(3) 「第4回きらっと光る人生を考える研究大会」を広島県知的障害者福祉協会と協力して開催した。

テーマ；「自分の住みたいところで、きらっと光る人生を送る」

日 時；平成27年12月13日(日)

場 所；広島県健康福祉センター(8階)(広島県地域保健医療推進機構)

内 容；① 行政説明[生活場の現状と今後の方向性]

講師；田中佐智子さん(厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課長)

② 実践報告「障害者の高齢化・重度化・親亡き後の生活場」

講師；水流 源彦 さん(社会福祉法人ゆうかり 理事長)

③ シンポジウム「安心できる親亡き後の生活場を考える」

進行；副島 宏克(広島県手をつなぐ育成会 会長)

シンポジスト；山本 博司さん(参議院議員 公明党)

田中佐智子さん(厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課長)

小池 英樹さん(広島県健康福祉局 障害者支援課 課長)

水流 源彦 さん(社会福祉法人ゆうかり 理事長)

久保 厚子さん(全国手をつなぐ育成会連合会会長)

④ 参加人数；約200名(含 講師・実行委員)